

レムナントに ふさわしい
ところでは ない このよ

ヘブル
11章 38節

——この世は彼らにふさわしい所ではありませんでした——荒野と山とほら穴と
地の穴とをさまよいました。

せいしょ きろく しんこう せんぞ かみさま ひと
 聖書に記録されている信仰の先祖は、神様とともにいる人でした。アブラハムは
 ぐうどう すうはい ぐうどう 信仰の いえう
 偶像を崇拝して偶像を製作して売る家で生まれました。そのようなアブラハムです
 かみさま たしが ふる わく こわ しんこう せんぞ あたら わく ととの
 が、神様のみことばに従い、古い杵を壊して、信仰の先祖という新しい杵を整え
 るようになりました。その結果、アブラハムの子どもイサクは、1年で百倍の祝福
 う みず きび かんきょう あらの いずみ こんげん え けいやく
 を受け、水のない厳しい環境の荒野で、泉の根源を得るようになりました。契約の
 たいれつ もんたい かつどう なか ふくいてん かいふく けいやく りよてい あゆ
 隊列にいたヤコブは、問題と葛藤の中にいましたが、福音を回復する契約の旅程を歩
 かれ むす せ さいかいふく いかん かあき
 むようになりました。彼の息子のレムナントヨセフは、世界福音化という明らかな
 けいやく う かみさま じようじゆ たいけん
 契約を受けて、神様が成就されたことを体験しました。

レムナントとして召された私たちですが、もし耐えがたい苦しみの中にいるならば、信仰の先祖のように、より一層神様に神様が与えてくださる霊的な力を求める祈りをしましょう。神様は福音によって神様がともにおられる祝福と証拠を与えられ、世界福音化の契約を成し遂げられるでしょう。問題や困難も、世界福音化の土台になるでしょう。



レムナントにふさわしくない所ではないこの世をきた
レムナントの信仰を学ぶことができるみことばをなぞって
書いて、私は神様を信頼しているか考えてみましょう。

書いてみよう

^{しんこう}
 信仰がなくては、
^{かみ} ^{よろこ}
 神に喜ばれることはできません。
^{かみ} ^{ちか} ^{もの}
 神に近づく者は、
^{かみ}
 神がおられることと、
^{かみ} ^{もと} ^{もの}
 神を求める者には
^{むく} ^{かた}
 報いてくださる方であることとを、
^{しん}
 信じなければならぬのです。

ヘブル 11 章 6 節のみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう 準備する資料



きょうのいのり

かみさま ふくいん れいてき ちから あた わたし げんご
神様、ありがとうございます。福音によって霊的な力が与えられ、私と現場を
生かし、すべての問題と環境を土台にすることができますように。生きておら
れるイエス・キリストのお名前によってお祈ります。アーメン

かわらない ことを にぎろう

I サムエル
1章 20節

日が改まって、ハンナはみごもり、男の子を産んだ。そして「私がこの子を主に願ったから」と言って、その名をサムエルと呼んだ。

奴隷生活をしていたイスラエルが、エジプトを出て、いよいよカナンに着きました。そののち、しばらくして士師時代を迎えます。士師とは、イスラエルを統治する指導者のことをいいます。しかし、福音が消えたイスラエルの国の士師は、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行なっていたので、イスラエルは隣の国のペリシテに侵略されてしまいました。このとき、ハンナという女の子の人が福音を回復するナジル人が必要だということを発見しました。その後、神様から与えられた息子のレムナントサムエルをナジル人としてささげる答えを受けました。

今でも99%の信徒が福音ではないことを握って、間違った祈りをしています。ヨーロッパとアメリカの教会は閉鎖したり、偶像と宗教団体に売ったり、撤去したりしています。韓国の教会も福音が薄くなり、伝道運動が消えて、教会から教会学校がなくなっています。

レムナントは覚えておきましょう。人のことばは変わりますが、主なる神様ののみことばは変わりません。永遠に変わらないのみことばのゆえに、福音を伝える伝道運動もなくなりません。神様が導かれる契約の旅程に入りましょう。福音をのがして伝道運動をなくした現場にのみことばが成就することを体験させてくださるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。霊的な目が開かれて、霊的な力が与えられ、変わらない神様ののみことばと福音、伝道運動の隊列の中に立つことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



どうすれば、学校現場で契約の旅程を歩むことができるのでしょうか。いまできる内容を絵日記で表現して、今日から実践しましょう。

月	日	曜日	天気
タイトル：			

きょうのでんどう

あひと
会う人じゅんび
準備する資料



けいやくの はこの そばで ねていた サムエル

I サムエル 3章 4節

そのとき、主はサムエルをよばれた。彼は、「はい。ここにおります」と
言って、

福音が消えたイスラエルは多くの指導者を立てたのですが、ますます契約は薄くなり、長引くペリシテとの戦争に、苦しむようになりました。

祭司エリは霊的な力を失っていて、契約を伝えることができませんでした。彼の子どもたちは、神様へのささげ物やいけにえの肉を自分のものにするなどの罪を重ねました。このような時代に生まれたレムナントのサムエルは、契約の箱のそばで寝ていました。すると生ける神様である主が、サムエルを呼ばれます。その後、神様はサムエルを通してイスラエルの民の福音を回復させて、サムエルに契約を受け継ぐレムナントのダビデを見つけさせ、彼を立てました。いつのまにか、イスラエルの国から戦争がなくなり、全世界に福音を宣べ伝える国になりました。

いま私に最も必要なことは何でしょうか。パパやママ、友だち、または、勉強についてづらいこともあるでしょう。そう感じるたびに、サムエルのように契約のみことばである福音に集中しましょう。福音に集中する時間を祈りの時間として過ごしましょう。神様の力を体験するとき、神様が福音のみことばによって現場が変化していくのを見る祝福の証人になってくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。変わらない神様のみことばに集中して、祈る力を与えてください。現場と時代が福音で生かされるのを見る祝福の証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

サムエルのまわりにいた人について調べてみましょう。みことばに対してとった行動によって神様がなさったことを覚えましょう。
私はみことばに対してどうしているのか、確認しましょう。

・みことばに対してとった行動

・みことばに対してとった行動

・結果

・結果



・みことばに対してとった行動

・みことばに対してとった行動

・結果

・結果

・みことばに対してとった行動

・結果



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



かみさまの ぜったいけいかく

使徒
9章15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

福音を持った伝道者を最も迫害したパウロが、神様の絶対計画によって、レムナントのパウロになりました。彼は世間的に見て、なに一つ欠けたところのない立派な人でしたが、むしろそれがパウロの邪魔をしました。そのようなある日、パウロはダマスコでイエス様に会います。そのとき、彼はすべてのことをちりあくただと思うようになって、契約の旅程にすることに気づきました。その結果、人を迫害したり殺したりする先頭に立っていたパウロが、人を生かして現場を変化させる証人になりました。また、すべての力と背景をちりあくたと思い、神様のみことばを握りました。神様は彼を通して預言のみことばを成就されました。

レムナントなら、パウロのように契約の旅程を歩むことは、神様の絶対計画です。私たちに足りないことや私たちにある力は、神様が世界福音化に用いてくださるための祝福の道具になるでしょう。今から始めましょう。教会で聞く人の話にだまされしないで、福音のみことばを黙想して、神様がともにおられる祝福だけを味わいましょう。神様はそのような私のすべての出会いと教会現場を祝福してくださり、また同時に、すべてのことを通して神様の計画を成就されるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私も契約の旅程にいることを信じます。神様の絶対計画で世界福音化の証人として立つように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



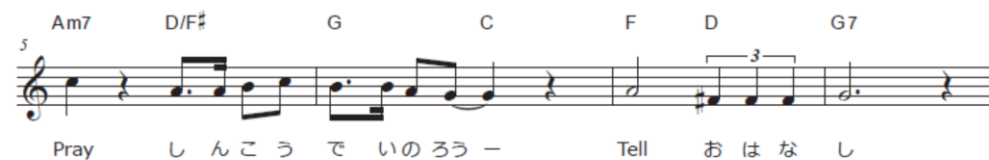
さんびしょう



12. おいのりソング

作詞/作曲: シン・ジョンエ

♩ = 120 ca.



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぴ
準備する資料

13 Am7 Dm7 Em7 A7 F D G7
Find け い か く さ と り ま す Praise さ あ さ ん び

17 F/A G/B C D G7
Con - fess こ く は く "I love my Lord!"

21 F Dm7 C/E A/C# D G7 C
Thank God か ん しゃ を in Je - sus' name (Christ)



レムナントの こくいん ね たいしつ



きんようび

使徒
1章1節

テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべ
てのことについて書き、

私たちは、神様が世界福音化のために召してくださったレムナント伝道者です。そ
のような私たちが知るべき現場の姿があります。99%の人が神様を離れて、サタンの
奴隷としてわざわざいのちの刻印しながら生きています。まちがった刻印は、成功と
健康を兼ね備えたすばらしい暮らしができるかのように見せかけて、時間の経過ととも
に、霊的、精神的、肉体的な困難を与えます。そのような生活が根をおろして体質にな
っているのです。

イエス様の弟子だったペテロは、イエス様とともにいて、イエス様が多くの現場を生
かされることや、みことばの成就を見ました。しかし、迫害と患難がやってくると、
元々の刻印、根、体質の象徴だった漁師に戻ってしまいました。そのとき、よみが
えられたイエス様が、ペテロを訪ねて来られました。そして、カルバリの丘であかしさ
れたイエスがキリストである事実を、ペテロに体験させました。これによって、ペテロ
の刻印、根、体質が完全に變化して、現場と世界を生かす祝福の証人になりました。

神様は、私たちの刻印、根、体質を福音によって変わることを望んでおられます。
ペテロのように、私たちの刻印、根、体質は世界福音化を成し遂げるための土台とし
て用いられるでしょう。



きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音によって刻印、根、体質をいやしてください。
その証憑によって現場の刻印、根、体質を変えるレムナントとして立つことができ
ますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。ア
ーメン



さいこうの こたえの げんばに います

使徒
2章 1節

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

聖書に記録された答えの現場の中で、最高の答えの現場とはどこのことでしょうか。使徒2章1節に記録されている五旬節の日のマルコの屋上の間の現場です。イスラエルの民は出エジプトしてカナンに移動するとき、過越祭、五旬節、収穫祭の祝福を味わいながら神様の導きを受けました。今もこの祭りの祝福を味わわなければなりません。ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊の満たしを受けた日が五旬節です。その日以降、神様からの力を受けた弟子は、だれもいやすことができなかつた神殿の美しい門の前にすわっていた足のなえた人をイエス・キリストの御名によっていやしました。だれも行くことができないサマリヤの現場で、キリストを宣べ伝えました。悪霊に捕われて多くの人を混乱させていた人や、偶像で病んでいた現場も、キリストの御名によっていやしました。

神様は私たちを最高の答えの現場に呼んでくださっています。契約は必ず成就します。ですから、神様は契約を握ったレムナントを通して神様の働きをされるでしょう。五旬節の日の契約を握った私たちに、神様は最高の答えの現場へ行く契約、祈り、伝道の旅程を歩ませてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。最高の答えの現場で契約の旅程を歩み、神様から与えられる最高の力を受けて味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがうところを
みつけよう

初代教会の信徒ピリポが、サマリヤに入って福音を伝えました。福音が宣べ伝えられる現場で、悪霊が追い出された姿を見ながら、2つの絵の違いを7つ見つけましょう



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料